

お別れの、お手伝い。



おもかけ復元師

ドキュメンタリー
映画

～^{そば}続いていくいのちの側で～

【出演】

笹原留似子

太田宣承／佐々木芳治／柏崎智広／西原梨沙／今西界雄／河合俊雄／熊谷章子

【語り】伊勢佳世

【企画】後藤康文 【プロデューサー】瀬川徹夫／稲葉正治

【音楽】瀬川英史 【撮影】瀬川龍 【撮影助手】橋田来希 【録音】Digital Sound Design SEGAWA 【録音助手】藤丸和徳／清水雄一郎 【音響効果】大河原将(Footprints) 【イラスト】森木満
【オンライン編集】小池恵加 【スタジオエンジニア】伊香真生／高岡侑花 【ポストプロコーディネイト】竹田直樹 【ポストプロ営業】長倉 隼 【広報デザイン】山田マリエ 【監修】ジャン・ユンカーマン 【監督・構成・編集】水元泰嗣

【撮影協力】株式会社 桜／北海道神宮／碧祥寺／高田松原津波復興祈念公園／陸前高田市教育委員会／ハウスセレモニー株式会社

日本災害医学会総会・学術集会／株式会社 ヒュー・マックス／山田町 農林課／西念寺／岩手医科大学／北上・みちのく芸能まつり運営委員会／総合ユニコム株式会社／釜石祈りのパーク／一般社団法人 京都こころ研究所

【資料提供】序言出典「心 日本の内面生活の暗示と影響」より「門づけ」作小泉八雲／山田城田虎舞保存会／八幡舞保存会／山田大神楽保存会／三陸国際芸術推進委員会／小樽市総合博物館

【九相図巻】出典:ColBase／Nova Ashford／PIXTA／株式会社 ティア／岩手大学 地域防災研究センター／「おもかけ復元師の震災絵日記」(ホブラ社10) 作:笹原留似子

【制作協力】株式会社 角川大映スタジオ／つなげるいのちの写真展 【製作】おもかけ復元師製作委員会

2024年／日本／51分／カラー／ビスタサイズ ©2024「おもかけ復元師」製作委員会



北海道札幌市出身、岩手県北上市在住。北海道神宮に正規の巫女として奉職。宮内庁の舞楽・雅楽を習得し神前で奉納、3年後巫女長となる。その後、病院勤務を経て2007年に北上市に株式会社を設立。遺族の悲嘆援助(グリーフケア)を中心とした独自のコミュニケーション法による「参加型納棺」を確立させ、復元納棺師としてこれまでに2万人以上を担当してきた。東日本大震災では遺族や機関関係者から依頼を受けて遺体安置所をまわり、5ヶ月で300人を超えるご遺体を復元するためにボランティアとして奔走。その活動が評価され、社会に貢献し感動を与えた市民に送られる「シチズン・オブ・ザ・イヤー 2011」に選ばれた。現在も震災遺族の会「いのち新聞」の代表として震災遺族の支援を続けている。著書に「おもかげ復元師の震災絵日記」(ポプラ社)ほか。

笹原留似子 (ささはらるいこ)

震災時、300人以上の遺体をボランティアで復元した
 “おもかげ復元師” 笹原留似子。死者と家族の声に耳を澄ませ、
 死と生を繋いでいく復元納棺師の、技と心の記録。



実際に死者の体に触れ、その家族と別れのひと時を共有する笹原さんの復元技術と心のあり様に圧倒されました。笹原さんを始めとする死の現場に携わる方々の献身と苦勞を知ることは、大切な人を失った遺族の悲しみの深さに触れ、その意味に思いを馳せる貴重な経験となりました。この経験は、自分自身もいつかは迎える死を、少しでも豊かで安らかなものにしてくれるのではないかと考えています。

笹原さんはよく、死者と家族の関係性が元に戻っていく姿を見て自分自身が励まされると話していました。そんな笹原さんの言葉には、「生と死は決して一方通行のものではなく、互いに響き合い、励まし合っている」という深い広がりを感じます。

本作をご覧いただいた方にも、そのような心の共鳴が起きれば嬉しいかぎりです。

【監督】水元泰嗣



【語り】伊勢佳世 (いせかよ)

法政大学人間環境学部在学中に劇団俳優座養成所に入所し、芝居の基礎を学ぶ。2008年より前川知大主宰のイクウメに参加、以降はほぼ全ての作品に出演。『散歩する侵略者』『太陽』『聖地X』などの劇団公演のほか、外部公演にも多数出演。近年の主な舞台に『暗いところからやってくる』『芸人交換日記』、新国立劇場『OPUS』(演出：小川絵梨子)、こまつ座『マンザナ、わが町』(演出：鶴山仁)など。



【音楽】瀬川英史 (せがわえいし)

岩手県盛岡市生まれ。1986年CM音楽の作曲家として活動開始、現在までに2500本以上のCM音楽を手掛ける。アメリカ、フランス、イギリス、インド、ブルガリア等海外録音の経験も多数。サウンド&レコーディングマガジン誌に「CM音楽の作り方」という連載や、「コンポーザーが教える作曲テクニック99」等の執筆活動にも積極的に取り組む。近年は劇伴作曲家としての活動の場を広げている。2012年、サウンドトラックを担当したフランス短編映画『Le Dernier Jour de l'Hiver』がフランス国立映画祭イェール・レ・パルミエで最高音楽賞受賞。



上映スケジュール

8月28日(水) 陸前高田市コミュニティホール	13:30 灯り 14:30 おも	9月2日(月) あえりあ遠野	18:30 灯り 19:30 おも
8月30日(金) 大船渡市市民会館	18:30 灯り 19:30 おも	9月3日(火) 北上市文化交流センター	18:30 灯り 19:30 おも
9月1日(日) 釜石情報交流センター	15:00 灯り 16:00 おも	9月4日(水) 花巻市文化会館	14:30 灯り 15:30 おも

*灯り=『灯り続けた街の明かり』(45分) おも=『おもかげ復元師』(52分) *開場30分前/入場無料/合間にトイレ休憩あり

【主催】おもかげ復元師製作委員会 【連絡先】Digital Sound Design SEGAWA e-mail: tsegawa1@mac.com

